



# DJI レポート No. 110+111 20170610

## 4月25日、京都でDJIエグゼクティブ・セミナー

2009年以來、ジュネーブでのアーカイブ・ボランティアでお世話になっている UNHCR アーキビスト、モンセラート・カネラ・ガラヨア氏が4月下旬来日し、日本文化を満喫された。その合間を縫って、4月25日には京都大学で来日記念講演を行った。参加者の一人、龍谷大学の太田さんの参観記をいただいた。

### 海外アーカイブボランティアの会・DJI エグゼクティブセミナー参観記



報告者 太田 宗志\*

子氏(任期1990年～2000年)の発意によって確固とした組織が構築され、外部からの資料アクセスも可能になったというお話であった。リーダーの視野や歴史観によってアーカイブズの在り方がかくもかわるものかと、アーカイブズにおけるリーダーシップと未来戦略の重要性について改めて考えさせられた。

またモンセラート氏は、各国で実際に難民の救援活動を行う職員—多くが記録を作成するという営為に重要性を見出さない—に対して「記録」を作成することの重要性を粘り強く説いてまわっていると話されていたが、自己の職場での体験にも思い当たるところがあり大変共感を覚えるとともに、同氏の仕事への責任ある姿勢に大いに勇気づけられた(自分もかくありたい!)

最後に、このような貴重な機会を設けてくださった国際資料研究所の皆さん、海外アーカイブボランティアの会の皆さんに心より御礼を申し上げるとともに、素晴らしいお話を聞かせてくださったモンセラート先生に満腔より拝謝申し上げます(20170501 受領)

#### \*太田 宗志(おおた そうじ)

龍谷大学矯正・保護総合センターRA(團藤重光文庫・正木ひろし文庫・アーカイブ系担当)、龍谷大学社会科学研究所嘱託研究員(團藤文庫研究プロジェクト)、大谷大学文学部非常勤講師

UNHCR's archive is the repository of six decades of documentation, telling the story of how UNHCR helped tens of millions of people around the world restart their lives.

当日のプレゼン資料より

2017年4月25日、京都大学百周年時計台記念館で開催されたモンセラート・カネラ・ガラヨア氏の講演会に参加させていただいた。当日は、国連難民高等弁務官事務所においてアーカイブ・記録管理課長の重職にある同氏より同機関の概要・記録管理のシステムについて実務を踏まえた興味深いお話を伺うことができ、大変貴重な体験となった。

お話を伺ってはいじめに驚いたのは、組織の構成とアーカイブの規模である。20名の職員(純粋なアーキビストはその内7名)で128カ国にサービスを提供し、膨大な量の「人間の記録」「歴史の記録」—つなげれば12キロメートルにも及ぶカミの記録と110万件にも上る電子記録—を裁いているというのである。半人前とはいえ「史料屋」の末輩である小職は世界のプロフェッションの仕事に文字通り震撼した(!)。特に印象に残ったことを記しておきたい。それはアーカイブを取り扱うため1996年に創設されたアーカイブ・記録管理課(Records and Archives Section)が、他の国際機関に比して重要視され、「対外関係部門」(the Division of External Relations(DER))という本部組織の中でも高い地位の部局に属しているということである。もともと、同機関のアーカイブは、部内で使用される資料として想定されていたが、国際政治学の研究者として歴史史料の重要性を認識していた第8代の高等弁務官である緒方貞

#### おもな内容

4月25日、京都でDJIエグゼクティブセミナー: 太田宗志……………1  
DJIアーカイブ13年表……………2  
紹介 ICA 人権を支えるアーキビストの役割基本原則……………4

#### DJI レポート No. 110+111 20170610

文献紹介/あしあと/消息・訃報/活動……………5  
巻末随想……………6

## 【DJI 年表】アーカイブ 13 年

本誌では 2005 年を「アーカイブ元年」と唱え、アーカイブ俯瞰記事の掲載につとめてきました。

これはアーカイブ元年以来の関連記事一覧表です。 ©小川千代子 20170510

年	本誌 No.	記事	備考
2005	61 巻頭	2005 年をアーカイブ元年に 目標 文書基本法の実現 基礎自治体のアーカイブ整備	2004 年、日経新聞の連載「アーカイブ 零 (ゼロ) 年」をうけ国際資料研究所とし 2005 年を「アーカイブ元年」と宣言。4 月 E 文書法施行
2006	65 巻頭	アーカイブ元年からアーカイブ 2 年へ ①文書基本法の実現②市区町村のアーカイブ整備③電子記録の長期保存必要性主張④日本のアーカイブ活動の国際的発信	2005 年から N I R A「公文書管理の法制度検討委員会」(委員長高橋滋一橋大学大学院教授)、内閣府「懇談会」に中間書庫と電子媒体記録の 2 研究会が置かれる 6 月「宙に浮いた年金記録」が約 5000 万件あることが判明
	66 巻頭	アーカイブ 2 年 文書基本法の実現に向けて DJI「文書基本法」の見直し	
	69 巻末随想	アーカイブ 2 年回顧と展望 電子記録の長期保存がアーカイブ 3 年の課題	
2007	70 主張	アーカイブ 3 年 ブルーシールド国内委員会設立を！→NDL/ JLA『ブルーシールド—危機にひんする文化遺産の保護のために』出版	国民保護法成立、有事の文化財保護の根拠法。ブルーシールドの根拠であるハーグ条約を批准。 社会保険庁、国民年金記録 5 千万件が宙に浮く、など国会で問題となる
	71 視点	今こそ記録管理院を創設せよ (社会保険庁年金記録問題をうけ)	
2008	73 視点	アーカイブ 4 年を迎えて 相次ぐズサン文書管理、問われる「国家の品格」	3 月、公文書管理のあり方等に関する有識者会議、発足。7 月、中間報告、11 月、最終報告。 <a href="http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/koubun/index.html">http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/koubun/index.html</a>
	74 巻末随想	文書管理法と文書局	
	75+76 視点	国家事業として取り組むべき公文書管理	
2009	77 視点	公文書管理法の早期成立を望む (アーカイブ 5 年)	6 月 20 日、公文書管理法成立 11 月 21 日、外務省が保管する日米外交密約文書の存在が明るみに出る。
	79+80 視点	DJI の視点 成立した公文書管理法	
	81 視点	市場となるアーカイブ (アーカイブ 6 年)	
2010	82+83 散歩道	博物館・図書館におけるアーカイブズの存在と MLA 連携	7 月公文書管理委員会 (座長御厨貴東京大学教授) 発足、公文書管理法がドライン制定。
2011	84 巻頭 巻末随想 視点	アーカイブ 7 年を迎えて 大丈夫？大学アーカイブ ◆近況・アーカイブ 6 年、日本のアーカイブとアーティスト	3 月 11 日 東日本大震災 ツイッターによる救援呼びかけが盛んに行われ、saveMLAK の活動に関心が集まる。被災地で失われた風景等の記憶の保存を目指す、デジタル写真アーカイブプロジェクト、広がる (ヤフーサイト等) 4 月 公文書管理法施行 5 月 外務省外交機密文書の公表
	85 巻頭 記録集 散歩	東日本大震災お見舞い DJI メルトモ速報再録 1.1~3.31 3.11 大震災とツイッター	
	86+87	記録・千葉県九十九里町、旭市飯岡町の津波被害、野田村の図書館、大槌町役場の公文書	
2012	88 巻頭	アーカイブ 8 年 DJI 記事年表	1 月 原発事故時の議事録不作成が問題となる 4 月 国立国会図書館長で、デジタル・アーカイブを推進した長尾真氏、退任。 7 月 ICA 大会、オーストラリア、ブリスベン 10 月 円の対ドル相場が 75 円 32 銭の過去最高値 12 月 政権交代、自民党安倍総理大臣就任
	89 巻頭	今、トレンドは『アーカイブ』	
	90 巻頭	突撃！モンゴルの国立記録管理院+アーカイブセンター (～92) アーカイブの看板@ベルリン(転載)	
	91 巻頭	4 年目を迎えた UNHCR ボランティア	
	92 巻頭 見学記	国際連盟アーカイブ in Geneva 福井県立文書館見学レポート DAS Do you know? SAAのMLから	

2013	93 巻頭 見学記 視点	アーカイブ9年 DJI記事年表 ベルンとベルリンの公文書館見学記 アーカイブの世紀がはじまった	志立託爾氏（元三菱信託銀行〈現三菱UFJ信託銀行〉社長1月31日死去、享年85。 2月 国立公文書館長公募
	94 巻頭 視点 消息	三ツ星！東京都公文書館の情報検索システム 激写！再訪モンゴルの国立公文書館外観 小布施町文書館（4月24日）	4月 自民党憲法改正草案発表 6月 新国立公文書館長に加藤丈夫氏 9月 アーカイブ・記録管理全国大会 10月 特定秘密保護法案、国会で審議入り
	95 報告 視点 紹介	タイの国立公文書館見学記 ついに実現！ウランバートルのアルヒーフ見学 新国立公文書館長	11月、国会周辺で保護法案反対デモ盛ん 11月23日 国際資料研究所緊急声明発表 11月25日 記録管理学会緊急声明発表
	96 見学記	新館見学！フランス国立公文書館 ロンドンで教会のアーカイブ調査！ 国際赤十字委員会「アーカイブ」の訪問調査と…	12月6日 特定秘密保護法成立 12月26日 安倍晋三首相靖国神社参拝
2014	97 巻頭 年表 98+99 見学記	年頭挨拶 DJI緊急声明2013. 11. 23 アーカイブ10年 DJI記事年表 パリ市公文書館	2月猪瀬前知事辞職に伴う東京都知事選挙 7月 解釈改憲閣議決定 12月10日 特定秘密保護法施行
2015	100 巻頭 101 巻頭 102 巻頭 Web	所感「公文書管理の課題」/茨城県常陸大宮市 文書館見学 情報公開制度の成熟と文書主義衰退 法5年見直し合同研究集会と共同宣言の提出 ウェブ上に総目録掲載	1月 公文書管理法が付ライン改訂 アーカイブ・サミット開催 7月 記録管理学会、アーカイブズ学会他共同 提言書作成 8月 総理大臣他あて共同提言書提出 9月 安保法参議院特別委員会で強行採決 10月 ユネスコ世界記憶遺産に南京大虐殺資料(中国)、シベリア抑留資料(日本)登録。日本国政府、不快を表明。海外では日本のこの動きに注目。ICA国際文書館評議会人権問題作業部会HRWG/ICAニューズレター10月号に 関連記事掲載。ICA Resources>Online Resources Centre>HRWG Newsletter> HRWG Newsletter, October 2015 <a href="http://www.ica.org/18340/hrwg-newsletter/hrwg-newsletter-october-2015.html">http://www.ica.org/18340/hrwg-newsletter/hrwg-newsletter-october-2015.html</a> (2015-12-31確認) 12月 歴史学研究会、記録管理学会等7団体合同で「施行1年の特定秘密保護法 歴史学、アーカイブズ学から考える」シンポジウム開催 於明治大学
		 12月のシンポジウムを報じる新聞記事 【詳細は本誌10頁活動記録参照】	
2016	103+104 巻頭 105 106 107+108	年頭挨拶/DJIアーカイブ年表 ユネスコの世界記憶遺産登録事業をめぐって 公文書管理法5年見直報告書概要 ソウルICA大会 ジュネーブ・アーカイブ・ボランティア報告会	ICA大会、9月5-10日、韓国ソウルで開催、日本から60名以上が参加 国立公文書館新館構想まとまる 国立公文書館「日本におけるアーキビスト職務規準」発表(2017.3取下げ)
2017	109 110+111	京都でUNHCRアーキビスト来日記念セミナー 開催予告 京都でUNHCR アーキビスト来日記念 DJI エグゼクティブセミナー開催:参観記(太田宗志) DJIアーカイブ13年表 「ICA 人権を支えるアーキビストと文書担当者の役割の基本原則」紹介	3月、4月森友学園問題で財務省の公文書保存期間の設定のあり方世間の注目を浴びる 4月 東京都公文書管理条例案パブコメ 4月 国立公文書館日本国憲法原本展示会 4月 UNHCRアーキビスト来日記念セミナー 5月 国会で共謀罪法案審議開始 国連人権高等弁務官事務所特別報告者のケナタッチ報告、これを非難。日本政府はこれに抗議したが、感情的と切り返された。

【チョコの注目資料紹介】

m p

## ICA 人権を支えるアーキビスト・文書管理者の役割に関する基本原則

これは、2016年9月、韓国・ソウルで開催されたICA大会で採択された文書である。

## 1. ICA 人権作業部会の沿革

ICA 国際文書館評議会には人権作業部会が設けられている。これは2003年、南アフリカのケープタウンで開催されたICA円卓会議が始まりだ。ケープタウンの円卓会議では、アーカイブと人権侵害が中心的な話題となり、この時アーカイブと人権に関する決議が採択された。この決議では、ICAとユネスコが、人権侵害を文書化するアーカイブ資料群の保存プログラムを導入することが要請された。この決議の実施をにらみ、ICAでは人権作業部会（HRG）が設立された。



INTERNATIONAL COUNCIL ON ARCHIVES

HUMAN RIGHTS WORKING GROUP

## BASIC PRINCIPLES ON THE ROLE OF ARCHIVISTS AND RECORDS MANAGERS IN SUPPORT OF HUMAN RIGHTS

A working document of the International Council on Archives

ICA  
国際文書館評議会  
人権作業部会

人権保護のためのアーキビスト及び文書担当者の  
役割に関する基本原則

日本語版  
JAPANESE VERSION

September 2016

## 2. ICA 人権作業部会の活動

人権作業部会では、人権を守るためのアーカイブの重要性と、人権侵害に抗議するためのアーカイブの使用についての情報発信を続けている。毎月、アーカイブと人権に関するニュースレターが発行され、人権分野におけるICAとアーカイブ業務と行政との協力を強化するプロジェクトを開発するとともに、人権擁護のためアーカイブのより広範な利用を支援しようとしている。日本に特定秘密保護法制定に際しての記録管理学会の緊急声明は、2013年11月号のこのニュースレターに英訳が掲載され、世界への発信が行われた。

## 3. 2016年ICAソウル大会での成果～「人権保護のためのアーキビスト及び文書担当者の役割に関する基本原則」の採択と日本語訳の作成～

2016年9月、韓国・ソウルでICA大会が開催された。この大会では「人権保護のためのアーキビスト及び文書担当者の役割に関する基本原則」が採択され、各国語でICAウェブサイトに掲載することとなった。

人権作業部会初代会長、現在はニュースレター編集長のトルディ・ピーターソン博士から小川千代子あてのメールが届いたのは、大会直後の2016年9月14日であった。トル

ディは「チョコ、この人権を支えるアーキビスト・文書管理者の役割に関する基本原則を日本語に翻訳していただけますか?」と依頼してきたのである。トルディは小川にとっては1991年からの知人であり、2007年には東京で日米アーカイブ・セミナーを開催したときの米側担当者という意味では文字通り「仲間」というべき存在だ。また、ICA人権作業部会は、21世紀になってアーカイブと人権の関係が注目されるようになった旗振り役である。アーカイブの世界規模での社会的意義について、先進的な観点で取りまとめたであろうこの「基本原則」は大いに関心を掻き立てられたので、この翻訳作業を引き受けることにした。翻訳作業は中央大学兼任講師の李東真（り・とんじん）先生及び近畿大学教授の田窪直規先生のお二人の応援を得て2016年10月下旬に着手、2017年5月上旬に完成をみた。

ICAのホームページには近くこの日本語訳全文が掲載される見込み。国内の学会誌への投稿も予定している。さらにDJIのHPへの掲載を検討中。

## ●やぶにらみ文献紹介●◆▼●◆●●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

## ●青木淳子『近代皇族妃のファッション』



この本、最初にその装丁を見たとき、わっ、ステキ！と感動。どこを開いてもステキ、きれい、が溢れ出てくる。美しいもの、素敵なものを基調に研究を展開する著者に憧れを禁じ得ない。加えて、アーカイブ資料も美しく掲載されている。こんなよい仕事をしている著者青木淳子氏が、曾て東大情報学環で筆者の講義「アーカイブの世界」の受講生の一人だったことをつい自慢したくなってしまった。中央公論新社 2017年3月発行、A5判414頁、4000円+税。

■UNHCR 駐日事務所のウェブサイト等に 5月29日付で UNHCR 本部のアーカイブ・ボランティア活動記事が掲載された。4月21日、来日中の UNHCR アーキビスト、ガラヨア氏とともに UNHCR 駐日事務所を訪問、UNHCR 本部でのボランティア活動と歴史あるアーカイブ資料の存在状況を紹介した事の記録。ご興味のある方ご覧ください。



左からガラヨア氏、松村氏、小川@UNHCR 駐日事務所

Web:<http://www.unhcr.or.jp/html/2017/05/ws-170529.html>  
 Facebook: <https://www.facebook.com/unhcrorjp/photos/a.212098778902685.44069.212089038903659/1246351218810764/?type=3>  
 Twitter:[https://twitter.com/UNHCR\\_Tokyo/status/869108260191715328](https://twitter.com/UNHCR_Tokyo/status/869108260191715328)

## ●千代子のあしあと●◆▼●◆●●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

▼DJLレポート No.110+111 2017年6月12日 up、6p. PDF 国際資料研究所 [www.djchiiyoko.com](http://www.djchiiyoko.com)

◆アーカイブの流転・発展・拡散 藤女子大学文学部紀要 53号 2017.3 p.313-346

■イベント成果報告書『アーカイブの日曜日』

2017年1月10日 up、30p. PDF 国際資料研究所 [www.djchiiyoko.com](http://www.djchiiyoko.com) > レポジトリ

■UNHCR 日本事務所ウェブサイトにて5月29日付ニュースとして UNHCR 本部のアーカイブ・ボランティア活動の記事掲載。(上記文献紹介の項に URL)

## ◇◆◇アーキビストの消息(順不同)◇◆◇【凡例：●個人■機関】

●周東美材氏 4月1日 日本体育大学准教授着任。おめでとうございます。

●安藤正人氏 3月31日 学習院大学退職

●小川千代子 3月31日 藤女子大学退職

■記録管理学会 5月27日 新会長に菅真城氏、新任理事：関本美知子氏、日野祥智氏。

【訃報】

●坂井隆憲氏 5月17日大腸がんのため死去。佐賀1区選出の元自民党衆院議員で内閣府副大臣などを務めた(佐賀新聞 Web)。坂井議員は2003年早春、国際資料研究所

の小川を議員会館に呼び、文書基本法大綱の起草を促した。ほどなく議員はリクルート汚職で逮捕服役。だが議員の要請に応じて作成した国際資料研究所「文書基本法案」は、2005年発足のNIRA/高橋滋座長の公文書管理法整備委員会での議論の下敷きとされ、現在の公文書管理法成立につながった。その意味で、公文書管理法成立の陰の立役者であった。享年69。合掌。

☆本コーナーへの皆様のご協力に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

## DJI国際資料研究所の主な活動 2017年3月1日～2017年6月10日

<発表>

6月3日 記録管理体系化プロジェクト研究成果発表、記録管理学会研究大会、九州大学箱崎キャンパス、福岡

<出講>

4月13, 20, 27日 5月11, 18, 25日 6月1, 8日「記録管理論」中央大学文学部

5月31日「社会情報学基礎演習(2)アーカイブって何?」中央大学文学部

<見学>

4月19日 東京都庁展望室 新宿 Mon

4月20日 国立公文書館見学 東京竹橋 Mon

4月21日 UNHCR 東京事務所倉庫、根津美術館、東京 Mon

4月22日 邦楽の会 国立劇場小劇場 Mon

4月26日 京都大学博物館 Mon

4月28日 小田原城見学 小田原、箱根対岳荘泊 Mon

4月29日 成川美術館、大涌谷、神奈川県 Mon

6月2日 福岡共同公文書館、大宰府市公文書館、大宰府天満宮、福岡県

6月3日 櫛田神社、うろんや 福岡市

<参加>

3月3日 雛の会、札幌

3月9日 中央大学講師懇親会

3月16日 アーカイブズ関係機関協議会 国立公文書館

3月23日 寒川文書館運営審議会 寒川

3月25日 安藤正人教授退職講演会、学習院大学

3月26日 東海岸3丁目町内会役員会 藤沢市

4月15日 千種台39会 東京

4月21日 モンセラート来日歓迎夕食会 鳥茶屋別邸、神楽坂

4月24日 モンセラート来日京都歓迎夕食会 神楽坂

5月7日 地引網、辻堂東海岸3丁目町内会、五郎引網  
 5月27日 記録管理学会総会、アルカディア市ヶ谷、東京  
 6月2日、3日 記録管理学会研究大会、九州大学箱崎キ  
 ャンパス他、福岡県

<主催>

3月~5月 ICA 人権とアーキビストの役割原則研究会  
 3月2日 ドーナツの会 藤女子大学 札幌  
 3月16日、4月3日、17日 記録管理学会理事会、記録  
 管理体系化プロジェクト研究会、八雲クラブ 東京  
 4月25日 UNHCR アーキビスト、モンセラート・カネラ・

### ■巻末随想

■スジが切れた：猫ヤマトが逝ってからというもの、私はすっかりペットロス。そのせいか、4月3日の夜に突然声が枯れ、そのまま5月中旬まで戻らなかった。さらに腰痛で診察を受けた整形外科で肩のスジが千切れてるのをMRI検査で発見されてしまった。スジを引っ張って縫い合わせる手術もあるが、すれば全治3か月、しなければだましましのリハビリで体調を見ながら温存も…。なんだか弱目に祟り目の気持ちになってへこんだ。結局決め手は「80、90だとかなりの方は（スジが）切れてますね」という医師の一言。なんだ、別にスジの一本が切れたって日常生活何とかかなりそうだ。手術はやめとこう。元気が戻ったようだ。

■モンちゃん来日：モンセラート・カネラ・ガラヨア氏はUNHCR 国連難民高等弁務官事務所の記録管理アーカイブ課長。2009年以來ジュネーブで継続しているアーカイブ・ボランティア活動の受け入れ先のトップだ。そのモンちゃんが「来年の春、桜を見に日本に行くから、ネ！」と宣言したのは去年の夏。うれしい話だ。せっかく来日するなら遊ぶばかりではなくセミナーの一つも設定しよう、とアーカイブ・ボランティアのメンバーは頑張った。それが4月25日の来日記念講演会。モンちゃんは、国立劇場で日本舞踊観覧、国立公文書館見学、日本のUNHCR事務所訪問、日光観光、箱根温泉旅行、京都奈良大阪訪問などなど、日本文化漬けの2週間を過ごした。どのプログラムも、楽しかった。同行した筆者にとっては、京都での舞妓さんのコスプレが楽しかった。FBで写真を見て「事実を見出すのはなかなか苦しい作業」といったヤツも…。

■CA更新：米国アーキビスト・アカデミー公認アーキビストの資格、英語だと Certified Archivist、略して CA は5年毎に更新が必要だ。今年はその年にあたる。1月ごろからそのお知らせが来ていた。なのに、1月は引越、2月はヤマトの介護、3月は引越しと介護疲れと、なぜか一日延ばしになっていた。4月に入ってからも、別の課題が片付かず、資格更新準備は後回し。5月末日が更新手続きの締切なので、5月になって大慌てとなった。これまでの活動実績を取りまとめ、先方の枠組みに従い整理してリストを作成する。米国だから何もかも英語で書かねば通じない。だから、何でもかんでも英語にする。しかも、執筆したものはそのタイトルの英に加え日本語の原題のローマ字分ち書きも書き添える。これがまた結構手がかかる。と思っていたのだが、今回はグーグル翻訳さんにすごく助けられた。日本語を英語に直すのはもちろん、日本語のローマ字分ち書きの作成も、グーグル翻訳がやってくれる。これはなかなか便利で気に入った。しかし、油断大敵だった。「汚染」は、英語では decontamination と出てきたので、

ガラヨア氏来日記念講演会「難民のアーカイブその存在と意義～UNHCR 国連難民高等弁務官事務所のアーカイブと記録管理～」京都大学時計台記念館  
 4月26日 舞妓さんコスプレ体験、祇園夢工房、京都  
 4月29日 モンセラート送別夕食会 品川プリンスホテル  
 <その他>  
 3月30,31日 マリソル整形外科で右肩不具合診察、以後毎週リハビリ継続中  
 4月28-29日 箱根対岳荘、神奈川

太鼓判だったが、ローマ字分ち書きのほうは、なんと、「osome」（オソメ）と表示されていた。汚染はオソメではなくオセン、「osen」に訂正したのは当然。だが、汚染が「オソメ」になっちゃうのは、なんだか牧歌的で、とても楽しかった。コンピュータもたまにはかわいいコトやってみせてくれて、そこがまたヨイ。5月26日無事提出、今審査中。

■記録管理学会：4年に及んだこの学会の会長任期が終わった。理事会メンバーになったのは記憶ではもはやとどれないので、記録管理学会20年誌『続・データは語る 記録管理学会20周年記念誌』で確認した。1999年から、大会担当理事に就任、その後2003年から副会長を担当している。2013年から4年間は会長を務め、2017年5月で任期を満了した。都合18年間、記録管理学会の運営に携わった。この間に国立公文書館法、情報公開法、公文書管理法、秘密保護法が次々に成立した。共謀罪法成立も秒読みだ。社会政治的な流れでみると、公文書管理がいきなりど真ん中に据えられてしまっている。21世紀初頭には、だれも見向きもしなかったのに、流れが変わった。20世紀末以来、記録管理院構想と文書基本法の必要性を主張してきて、やはりよかったと今しみじみ思う。記録管理学会の諸先輩に支えられていたことに、今頃思いをいたしている。

■詐欺電話：我が家に番号非表示からの息子？の電話。非表示の☎は3回目。友人に頼んだ郵便物の着信をしきりと聞いてくる。かけてくる時間帯が普段と違う。その息子？は最近転職して、会社の信頼を得るところとなった。で、「実はお母さん、今会社のトイレで☎してるんだ。この前から、会社の会計も担当するように頼まれた。」「これとは別に、サイドビジネスで、浄水器の販売やって、ちょっと稼いでいた。ひとつ売れると5万くらいの収入になる」「先頃駅前デニーズにパンフレット持ってって、買ってもらったことになった。で、その資金繰りで会社の金を使ってしまった。部長にばれて怒られた。穴埋めにおカネを貸してほしい。」「それじゃ、まるでオレオレ詐欺じゃないの。部長さん、なんていう方だっけ？」「サクラだよ」「そう。今二万円ならば、ある。」「それじゃダメ、銀行に行ってまとまった額を用立ててほしい。金曜日には金が入ってくるから。」「ちょっと考えます」私は電話切る。すぐに110番して顛末を話す。間違いなく、それは詐欺、と太鼓判！また電話あれば、警察に相談したことを伝えなさいとの助言を得た。まもなく再度息子？から着信。「なんで切ったの（怒）」「手が滑ったのよ。あのね、警察に相談したら、ウチに来て相談に乗ってくれるって」「なら、オレも行く！」と言って電話はブチギレました。対応所要時間30分あまり。オレからもう音沙汰はない。（ち）

Documenting Japan International Report 国際資料研究所報 ㊦ ←電子バージョンのマーク! ISSN 1342-632X

DJILレポート DJIホームページ <http://www.djichiyoko.com> No. 110+111 20170610

発行所：国際資料研究所 Documenting Japan International Email: [djiarchiv@yahoo.co.jp](mailto:djiarchiv@yahoo.co.jp) 代表 小川 千代子

〒251-0045 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-8-24 fax+ phone 0466-31-5061 DJIBlog: <http://djiarchiv.exblog.jp>